



連町通信

安全で安心して暮らせるまちづくりをめざして

発行

釧路市連合町内会

085-8505 釧路市黒金町7丁目5番地

釧路市役所内

電話 0154-31-4255

直通電話・Fax 0154-23-2101



=第22回= - 認知症治療薬最新情報 -

ドクター機部の 処方箋



釧路労災病院
脳神経外科部長
機部正則

画像検査で異常所見がない一次性認知症の一つである、アルツハイマー型認知症（AD）。

認知障害～軽度認知症の段階であれば、脳に溜まった余計なアミロイドを排出する画期的な新薬が使えるようになって、一年半が経過しました。当科でも注射を行うようになって、一年近くになります。好評のようです。

新薬は、ADの一因である脳に溜まったアミロイド（脳細胞がやられる）を減らすという、これまでになかった作用があり、画期的で期待してしまいます。ただ効果のほどはADが治るとまではいかず、進行を緩徐にできそうということなので、今一つな感じですが、それでもやってみたい治療のひとつでしよう。

全国的には一万五千人以上の方が、注射をして、心配された副作用はほとんどなく、効果に関しては、進行抑制ですが、中には改善した方もいるらしく、当初の終了予定の一年半を迎えた方で、注射継続を希望する方が多いと話も聞かれます。

当方の認知症の親族は今は亡くなっているか、すでに重症で、注射は受けさせてあげられません。注射の登場に間に合いませんでした。

ADでアミロイドが溜まる原因は遺伝子変異と言われており、体质、遺伝的かもしれません。当方母方は姉妹数名が全員認知症でした。父方は一名のみ。私もAD体质かもしれません。であれば、発症前からアミロイドは溜まり始めるので、判明すれば、発症する前にアミロイド抗体薬注射したいです。現状は、認知症状がないと治療は受けられませんが、将来は受けられるようになるでしょう。

ADなど一次性認知症は、新登場の注射薬以外にも、従来薬を駆使して、ある程度症状には対応していくので、脳外科に相談してください。しかし、もちろん認知症は、加齢も一因であり、病院の薬で治せるものでない現状では、認知症を理解して、医療機関だけでなく、ご家族、地域で受け入れて対応していかなければなりません。